2019 年度　ル･ソラリオン綾瀬　事業計画書

１．施設理念

・ ご利用者の尊厳を守り、安全に配慮しその有する能力に応じ自立した日常生活の支援をします。

・ 高齢者が住み慣れた地域で安心して快適な日常生活が営めるよう「生活の質」「介護の質」を基本とし、地域で信頼される介護サービスを提供します。

２．施設方針・テーマ

テーマ　　「笑顔」　～相手を思う心優しい介護～

・　人として尊厳を守る介護

・　笑顔で安心出来る介護サービス提供

・　専門性を活かした認知症高齢者ケアの提供

・　地域福祉の拠点施設としての活動

３．　実施事業及び定員

（１）介護老人福祉施設　　定員１６０名（ユニット型個室１２０名）
（従来型多床室　　４０名）

（２）ショートステイ　　定員２４名　（ユニット型個室 ）

（３）デイサービス　　定員２４名/日

（４）居宅介護支援事業

４．重点目標

･一人ひとりを大切にし、毎日を楽しく、安心、安全に日常生活が送れるような支援の充実を図る

・　「地域において求められる施設」は何かを考え、社会資源の活用、地域貢献を積極的に行う

（１）利用者へのサービス提供

◆個別ケアの実施を目指す。

・　記録を充実させケアに反映できる

・　ご利用者個々の状態、意向、生活リズムに合わせたケア、加算の取り組みが提供できるよう、定期的なミニカンファレンス・ユニット等で検討・実施をする。

・　各フロアのケアの情報共有・検討をし、施設全体のケアの向上を目指す

◆利用者が穏やかに過ごせる環境つくり

・　ご利用者の要望に応じた余暇活動の企画の工夫と実施

・　ご家族にご利用者の様子を伝え、ケアの理解・協力を深める

◆チームケアの充実、連携の強化

・　みるみるノートの活用で正確な情報伝達（職員間の報連相）、情報共有を行う
・　ケア記録を活用し、チームとしてケアの共有・検討・実施ができる

（２）施設・設備整備

◆災害時の対応をスムーズに行うことができるような体制づくり

・　日中夜間想定の避難訓練実施、図上訓練を行う
・　防災備品の設置及び周知し災害時に備える
・　相互協定に基づき避難訓練時に地区住民の方に参加していただく

◆介護ロボット等導入の研究・検討

・　介護従事者の業務改善につながる、日常生活における介護ロボット等の導入を検討する

（３）施設管理

◆ＩＳＯ９００１システムによる品質管理の徹底。

・　手順書を活用することで、標準的なケアの実施・確認ができる

◆法令順守・リスク管理（事故・感染・苦情）の徹底

・　大きな事故が発生した場合には現場検証・原因究明をし、早めの再発防止策の決定・周知に努める
・　冬季の感染症予防について取組みを強化する。
・　ご利用者・ご家族からのご意見を積極的に受けケアに活かす

（４）職員管理

◆働きやすい職場環境づくり

・　ストレスチェック集団分析・第三者評価結果を基に、改善案を運営会議で整理実施する
・　できること、ケアの効果、ほめ言葉を職員同士で共有する
・　目標管理を活用した職員の育成

◆教育研修の企画立案の充実と実施

・　必要な研修の再構築・企画を行い、職員の参加率を上げる
・　医療・福祉学会発表に結びつく取組みを各部署で計画し研究発表する

◆委員会の見直し

・　委員会、係の構成・活動内容の見直しをし、効果的な活動ができる

（５）経営管理

◆安定的な事業経営

各事業における目標稼働率の達成を目指し、月末状況の分析、改善計画を立てる。

◆利用者増の取組み

特養：待機者名簿の再確認と先手を打った空床管理

ショート・デイ：多様な利用者に対応できるためのケアの質向上

（６）地域との連携

◆「あやせ日和」・ホームページを利用した情報発信を行う

◆地域貢献に努める

- 生き活き健康大學の継続により地域の介護予防活動に貢献する
- 地域自治会での介護教室の計画と開催

◆社会資源の活用

- ボランティア・実習生の受け入れを積極的に行い、ご利用者の生活（ケア、余暇活動）に活かすことができる
- ボランティア受け入れへ協力し、今後のボランティア活動につなげる